

この会社にきた理由がわかった

1000日間

株式会社 ヨシダ

企業で活躍する若手社員の紹介

社員採用側と就職活動側、お互いのゴールは「入社」ではなく、「定着」から活躍であることは周知であると思う。

せっかく人材のマッチングが行われ入社に至っても、定着までにかかる日数が業界それぞれに存在する。

「定着までの心理と時間の谷」
その多くは1000日に現れることが多いと言われている。
「谷を越えて来た」9人のインタビューから、それぞれの背中を押ししたポイントを探ってみたい。



林業

株式会社 ヨシダ

入社約6年

一色 聖弥さん



定着成功、3つのポイント

- ・会社から仕事の役割を渡していくスピード
- ・先輩たちの適切な関与
- ・新人職員の責任から達成サイクルの更なる底上げ

現在の職場の前は、転職を見据えながら地元で働いていました。

最初の就職は地元の会社でしたが、比較的早くに転職を考えました。

転職希望の理由は、「体を動かす仕事がしたい」でした。

最初の就職時には、自分の仕事観や将来像・向き不向きなど、条件があまり固まらないまま就職した感は否めませんでした。すぐ辞めてしまおうということではなく、次の再就職・再就職活動へ向けての準備を行いました。

きちんと働きながら

本気の就職活動。

再就職に向けての活動は計画的に行うと思っています。

仕事をしていくための想定を自分の中にきちんと作って、実行できる自分を準備するという感じでした。

職種としては体を使う仕事で、業種も1次産業や2次産業・工場勤務なども含め、視野が狭くならないようにしていました。

そして、体力を使うことを想定し、ジムにも1、2年かけて通い、体力UPを行いました。



再就職に

応募したのは結果としては1社でした。

道内・一部道外も含めて検討していたこともあり、仕事探しはWEBが中心でした。

就職面接時にも、早速会社見学なども詳しくしていただき、若手社員への期待を感じることができました。また、想像していたより機械を使った仕事が多く、体力仕事というよりは技術仕事の側面とチームワークを感じる職場でした。

結果、スムーズな形で転職することができました。「社会人と自分の両立」にチャレンジしていける！と感じての就職決定でした。

役割を与えられるのが嬉しい。

チャレンジさせてくれる

会社に貢献したい。

会社では、年齢に関わらず役割や責任を与えてくれます。

例えば、「各製製品の仕上がり責任を持つ」「自分の責任の持場ができる」など、当たり前のことなのですが、明確に任せられること自体が嬉しいのです。すぐにできるわけではないのですが、先輩がサポートしてくれます。予想を良い意味で裏切り、期待に応え、会社に貢献したいと思っています。